

みんな輝け！　しょうわっこ

昭和五つ星学園幼稚園
園長だより10号　R8.10.28

気候もよく遊びが充実する秋です。秋と言っても日中はまだまだ暑いですが、子どもたちはしっぽ取りをして元気いっぱい遊んだり、興味をもったことにじっくり取り組んだりしています。

リレー、楽しいな

１年生とのなかよしタイムでリレーや玉入れをしたことがきっかけとなり、業間にはアクティブキャンパスの児童がリレーに加わってくれるようになりました。また、はな組もアクティブキャンパスの児童に混じって一緒に走る姿が見られています。

そら組・ほし組の子どもたちは友達やアクティブキャンパスの児童と競走することを楽しむ幼児が多いですが、はな組の子どもは先生や友達と一緒に走ること、思い切り走ることを楽しむ幼児がほとんどです。

それぞれの発達に応じて、楽しんでいることが異なります。アクティブキャンパスの児童も含め、異年齢の子どもたちが同じ場で遊ぶことは、よい刺激をもらうことができる貴重な経験です。



「オレンジ（色の）チームは何人？」

朝夕の気温が低くなると、しっぽ取りを楽しむ幼児が増えてきました。オレンジ色と緑色のチームに分かれ、互いに相手のしっぽを取ります。最初はチームの人数が異なっていても気にしなかった幼児が、途中で気付いて「オレンジ（色の）チームは何人？」と言い、人数を数えました。教師が「緑チームは？」と尋ねると今度は緑チームの人数を数えました。このように、遊びの中で、子どもたちは、多い・少ないなどの感覚を豊かにし、人数を数える、比べる、という経験もします。また、問題が起きたときにはどうすればよいか、みんなで話し合い、解決していきます。

しっぽ取りでは、思い切り走ったり、競い合ったりする経験だけでなく、小学校以降の学習につながる学びをしています。教師はそんな学びができるよう、子どもたちの気付きに寄り添い、じっくり関わっています。



ドングリを使って試したり工夫したりして遊んでいます

遠足で拾ってきたドングリを使って、ドングリを転がして遊んだり、ドングリごまを作ったり、ケーキなどの飾りに使ったりして遊ぶ姿が見られています。ドングリ転がしのコースはそれぞれのクラスで、発達に応じたコースを作って遊んでいます。

また、ドングリごまを作って友達とどちらがよく回るか競争したり、好きな色を塗ってお気に入りのこまを作ったりする姿も見られます。そら組では、ドングリごまを自分たちで作り、ドングリごま屋さんをオープンする姿も見られています。はな組の子どもたちはそら組で買ったこまをうれしそうに回しています。

秋ならではの自然物にしっかり触れて遊ぶ中で、自然を身近に感じたり、工夫したり試したりしてじっくり遊ぶ経験をしてほしいと思っています。



はな組のドングリ転がし。一度にたくさん転がして音や転がる様子を楽しんでいます。片付けも上手になりました！



ほし組のドングリコース。トイレットペーパーの芯を思い思いにつなげてコースを作っています。どうやったらうまく転がるのか4歳児なりに考えたり試したりしています。



そら組のドングリコース。様々な素材を使って作っています。「すたぁと」や「2つ」など文字で伝えたいことを伝えようとしています。友達と一緒に試行錯誤しています。



そら組では、ドングリごま屋さんがオープンしています。自分で作ったドングリごまに色を塗り、売っています。ほし組やはな組の子どもたちが買いに行っています。

キリトリセン

あのね・・・・・　（　　）組　名前（　　）

通信を読んでの感想、悩みごと、ちょっと聞いてほしいことなど、何かあれば書いてください。